

木を使って様々な社会課題を解決するモノ・コトを表彰 『ウッドデザイン賞2023』受賞作品が決定！ ～多様なジャンルから優秀な作品が集結、238点が受賞～



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2023

2023-10
PRESS RELEASE

10月5日（木）

一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

10月5日（木）、「ウッドデザイン賞2023」の受賞作品238点が選出されました。ウッドデザイン賞は、木を使って様々な社会課題を解決するモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度です。受賞作品の一覧は「別添資料1」をご参照ください。

ウッドデザイン賞は建築・空間、技術・建材、プロダクツ、コミュニケーション、調査・研究の5分野と生活者視点、消費者視点から見た木の良さ・価値を表す3つの部門から構成されています。

本賞では、多様な木の活用のデザインを通じて、地域活性化、持続可能な森林経営、新しいライフスタイルの提案、脱炭素社会へのシフト等、社会課題の解決に貢献する最も優れた作品（最優秀賞）4点に、「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」が授与されることが決定しています。さらに2023では、「日本の木の文化・木のデザインを海外へ発信するにふさわしい、宿泊・飲食・体験施設、及びプロダクツ、活動等」を満たす優秀な作品に、「大阪・関西万博 特別賞（国際博覧会担当大臣賞）」を設置、授与いたします。

6月20日から7月31日まで作品を募集し、応募総数355点と昨年を上回る数が集まりました。今後は、ウッドデザイン賞を受賞した作品の中から最終審査を行い、最優秀賞、優秀賞、特別賞、奨励賞を11月9日（木）に発表する予定です。上位賞の表彰式、展示、セミナーは12月6～8日に開催される「エコプロ2023」（東京ビッグサイト）にて実施予定です（表彰式は12月6日）。



受賞作品の一部/上段左から「シェラック本社ビル」「上智大学四谷キャンパス15号館」「洞爺湖鶴雅リゾート光の調「光響」」「SUWARI」
下段左から「木の冷蔵庫」「shell x shelf」「五年目の結婚記念日を木づかう。」「木婚式アニバーサリーセット」「林業×福祉連携プロジェクト「森tebaco」

ウッドデザイン賞2023 総評（審査委員長 赤池 学）

日本ウッドデザイン協会主催の顕彰制度として、昨年からは新たなスタートを切ったウッドデザイン賞であるが、2023はすべての分野において、非常に高いレベルの作品が応募されており、審査委員会としても嬉しく感じている。単に木を使ってみた、というのみではすでにウッドデザイン賞の評価基準を満たすことはできなくなった。コロナ禍以降の暮らし方、働き方の変化に対応した住宅やオフィスのあり方を木を巧みに使いながらデザインしているもの、地域のマイクロバリューチェーンが食や観光、教育と結びついた事例などが印象的であった。木材の存在がこれまで以上に他領域へ広がり、都市と林産地をつなぎ、カーボンニュートラルやSDGsといった時代の要請に応えていく、今後の木材利用の方向性を示唆させる、実り多い年であったと思う。

※リリース・広報に関するお問い合わせ先

審査員や受賞者への取材もコーディネートいたします。
ご希望の方は是非、下記問い合わせ先へご連絡ください。

ウッドデザイン賞運営事務局
(担当：高橋、木俣)

E-mail : press2023@wooddesign.jp

※受賞作品に関するお問い合わせ先

ウッドデザイン賞応募受付担当

E-mail : info2023@wooddesign.jp

※電話でのお問い合わせは受け付けておりません